

特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド 2003 年度事業報告書 2003 年度（法人設立日～2004 年 3 月 31 日）

2003 年度の前半は、よりわかりやすく、公平な仕組みを具現化するために、NPO や助成プログラムの専門家による構造革新委員会を設置し、検討を行いました。併せて神奈川子ども未来ファンドが重視する価値についても検討を行い、子どもの命を価値の中心に据えることを決め、助成プログラムへ位置づけ、各種広報ツールでの発信を行いました。年度後半には、それまでに寄せられた寄付協力にできるだけ早い成果を生み出すために、子ども・若者や子育てに関わる NPO への助成開始に向けた取組みを行いました。ファンド構築にかかわってきた団体だけでなく、県内から広く助成公募を行い、選考に着手しました。

1 各種寄付プログラムの運営と寄付の受け入れ

今年度は組織体制づくりに注力し、広報ツール作成、ポータルサイト開設などを行い、新規寄付プログラムの開発に必要な体制づくりに努めました。

【2003 年度の寄付協力】

寄付者名	寄付額(円)	寄付種別
子ども未来サポート会議・よこはま	170,000	(イベント)映画製作連携
国際ソロプチミスト横浜みらい	200,000	イベント
(特)ナルク東横浜	35,000	スポット(イベント)
株式会社エス・エヌ・シー	256,366	チップ寄付(職域)
モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合	23,484	マイバッグ*
スマイルハートクラブ	100,000	職域
三井住友海上火災	100,000	職域
シマオカエイキ	10,000	個人寄付
熊谷 和夫	10,000	個人寄付
募金箱(33カ所)*	195,832	募金箱*
合 計	1,100,682	

・モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合マイバック寄付参加店舗

富士見庵 ・ ヤジマ文具店 ・ 伊藤クリーニング ・ 八百春 ・ 宇野商店 ・ 靴のナカタニ ・ 写真セキモト ・ 徳植履物店 ・ 三吉野 ・ 谷口商会 ・ レディースミント ・ お茶の青樹 ・ 元住吉メガネセンター ・ 成川薬局 ・ 小山文具店 ・ フレッシュマーケットわたべ ・ 市川商店 ・ お茶のヤマキチ ・ 丸十ベーカリー ・ 三和クリーニング ・ 富士見庵 本店 ・ カクハチ堂 ・ ワインのマスヤ

・募金箱設置店舗

- ・ 高津宮前飲食業連合会加入店
(高津宮前飲食業連合会事務所、いっぷく、グリル川北、コーヒーハウスサギヌマ、ご馳走居酒屋たまい本店、しのぶ、はまゆう、ぴーたん、レストランユニオン、翁亭、花しずく、株式会社久地ガーデン かまど本店、牛炭屋、居酒屋茂々、新宿丸正・溝ノ口店、蔵健、六曜館、和風スナックれい)
- ・ デイリーヤマザキ仲町台店(横浜市都筑区)
- ・ てまり(横浜市青葉区)
- ・ ラウンジ・シャトラン(横浜市青葉区)

- ・株式会社まるき（スーパーまるき矢向店・潮田店・小倉店）
- ・ファミリー宿河原店（川崎市多摩区）
- ・リカー&フーズサカモト（川崎市高津区）
- ・お好み焼き卵（中山店・藤が丘店）（横浜市緑区・青葉区）
- ・ファコス（横浜市鶴見区）
- ・カラオケビックエコー（茅ヶ崎店・平塚西口店・小田原店）
- ・お好み焼きコロンプス
- ・アリスセンター

【神奈川県子ども未来ファンドポータルサイト】

URL : <http://www.kodomofund.com>

開設日 : 2004年2月5日

2003年3月31日現在のカウント : 635

2. 民間非営利組織への運営費と事業費助成

(1) 選考委員会の設置と選考基準の策定

子ども・若者と子育てに関わる人を支える民間非営利組織の運営費にかかわる助成を実施するために、各方面の専門家による選考委員会を設置し、選考基準、選考方法等を検討、決定しました。

【2004年度助成選考委員】

委員長： 篠崎孝子氏（株有隣堂相談役）
 副委員長： 伊藤聡子氏（(財)日本国際交流センター チーフプログラムオフィサー）
 委員： 鈴木祐司氏（(特)青少年育成支援フォーラム 国内事業統括）
 柴田愛子氏（作家・(有)りんごの木子どもクラブ代表）
 小村陽子氏（横浜弁護士会 日本弁護士連合会「子どもの人権委員会」幹事）
 齋田順一氏（(社)横浜青年会議所2004年度副理事長）

(2) 助成対象団体の公募と決定

次年度助成に向けて、運営促進助成として5団体程度に総額150万円、事業費助成として1～2団体に総額15万円を助成することを決定し、助成対象団体の公募を行いました。運営促進助成に15団体、事業費助成に11団体の応募があり、助成対象団体選考に着手しました。助成対象団体は以下のとおりです。

【2004年度助成対象団体】

<運営促進助成> 5団体 助成総額1,500,000円

	団体名	事業内容 < >内活動自身の活動領域	都市名	助成金額
1	特定非営利活動法人 ままとんきっず	<乳幼児親子のサロン活動> 人材育成の充実と施設維持・活動資金の確保	川崎	400,000
2	片倉うさぎ山公園 遊び場管理運営委員会	<プレーパーク活動> 子どもがとことん遊べる場づくり	横浜	400,000
3	特定非営利活動法人 びーのびーの	<乳幼児親子のサロン活動> ひろばファシリテーター養成による環境の充実	横浜	400,000
4	特定非営利活動法人 楠の木学園	<障害児・不登校の子どものフリースクール> ゆとりを持って働ける環境に	横浜	200,000
5	特定非営利活動法人 子ども虐待ネグレクト防止 ネットワーク(CMPN)	<電話相談> 「虐待相談かながわ」の広報活動	伊勢原	100,000

<事業費助成> 1団体 助成総額150,000円

	団体名	事業内容	都市名	助成金額
1	かながわユースボランティア りんぐファクトリー(KYVF)	ユースボランティアミーティング (若者自身で企画するボランティアミーティング)	鎌倉	150,000

3. 子ども・若者、子育てに関する分野の調査研究

県内の子ども・若者や子育てに関わる人を支える民間非営利組織に関する情報収集、子ども・若者や子育てに関する資料及び、民間非営利組織の活動内容等に関する資料を収集し調査研究にそなえました。

- 参考：理事が関わる団体は以下のような各種審議会・委員・ネットワークへ参画している
 総務省・「少子化対策に関する政策評価」にかかる研究会委員
 財団法人広域関東圏産業活性化センター・少子高齢化に対応した街づくりに関する研究会委員
 長寿社会文化協会 地域三世代子育て支援委員会委員
 子どもの城サークルネット委員会委員
 NPO事業サポートセンター・子育てNPO運営支援マニュアル委員会委員
 フリースクール全国ネットワーク
 つどいの広場全国協議会世話人
 神奈川県青少年問題協議会委員
 引きこもりの青少年とその家族支援協働事業（神奈川県）
 かながわ思春期サポート懇談会世話人
 神奈川県フリースクール・フリースペースネットワーク会議
 かながわ子育てネットワーク
 かわさき教育プラン策定委員会・学校教育専門部会委員
 川崎市子ども夢パーク運営委員
 川崎市子ども夢パークにおける不登校児童生徒に関する協議会
 横浜子ども各界連
 よこはま1万人子育てフォーラム世話人
 横浜市親と子のつどいの広場事業運営協議会委員
 港北区子育て支援プロジェクト

4. 組織の体制整備・理事の増員

2003年2月25日に起きたインターナショナルコロンブスアカデミーのニュージーランド施設における青年死亡事件（事故）をきっかけとして、子どもファンドは、それまでの活動を一時停止し、事件に関する情報収集と、今後の体制整備に関する検討をおこない、子どもに関わる多くの団体が、事件や事故と隣あわせの中で活動をおこなっている現実を真正面に見据えながら、子どもや若者一人ひとりの「いのち」を価値の中心に据え、子どもや若者の育ちや学びを支える市民団体、子育てに関わる人を支える市民団体を支援していくという、子どもファンドの理念と役割を再確認しました。

多くの人、組織にとって、よりわかりやすく、公平な仕組みを具現化するために、助成事業や市民活動の運営に精通した外部有識者と理事の協議、外部有識者による改善方法の検討を行った。構造革新の方針をとりまとめ、それに基づき理事構成を多様化させるために専門性を有する理事4名を増員しました。

【新任理事4名（2003年11月13日就任）】

- ・佐竹和乎（綾瀬青年会議所副理事長）
- ・高島さち子（社団法人神奈川県社会福祉士会会長）
- ・寺尾絢彦（元家裁調査官）
- ・中西新太郎（横浜市立大学国際文化学部教授）